

平成30年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I. はじめに

尚絅学園は平成25年度に学園の将来計画である「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」をスタートさせ、平成27年度に第1回目の改定、平成29年度に第3回目の改定を経て、今年度は10年計画の折り返し年度を迎えます。また今年度は創立130周年という節目の年度でもあります。そういう中、社会環境や学園を取り巻く環境の変化は急速に進展しており、これらの急激な変化に対応するためには、中長期行動計画に基づく単年度事業計画を具体的かつ明確にした上で、ひとつひとつ確実に実行していくことが必要です。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生生徒が充実した快適な学校生活を送るためには、確りとした財政基盤が必要であり、組織・運営態勢の改革、人事・人材の改革、環境整備の改革を不断に続けていくことが必要です。

○組織・運営態勢改革

規律と誠実性を維持しつつ、急速に変化する環境変化に迅速に対応すべく、今以上にガバナンス機能・組織マネジメントを強化し、組織力を強化してまいります。

○財政改革

少子化等の影響による学生・生徒等の確保が一層厳しさを増す中、一段と厳しい財務運営が予測されるため、中期財務計画に則り、安定した財務基盤の確保と適正な収支バランスの確保に努めてまいります。

○人事・人材改革

学園・設置校に有為かつ適正な人員を確保しつつ、教職員一人一人の資質向上・能力向上に努めてまいります。

○環境整備改革

施設整備計画に則り、教育・研究のための施設・設備の充実、IT環境の整備・構築に努め、より良い環境整備を進めてまいります。

(1) 組織・運営態勢改革

重点施策	具体策
1. ガバナンス機能の強化とコミュニケーションの確保 (1) 戦略的意思決定の機能性と誠実性の確保 (2) リーダーシップとボトムアップのバランスの確保 (3) 三様監査体制による監査機能の強化と内部統制の確立	① 理事会・常勤理事会での迅速な意思決定かつ着実な周知及び実施 ① リーダーシップの発揮と業務遂行状況の確認 ② 教職員による主体的・自主的な意見具申の検証と提案制度の見直し ① 内部監査結果の業務執行態勢への反映 ② 内部監査結果・監査法人監査結果の3者間の情報共有
2. 組織マネジメントの強化と業務執行の機能性の拡充 (1) 規程の整備と厳格な運用による権限と責任の明確化及び機能性の確保 (2) 法人部門と教学部門の機能・役割の明確化と連携強化 (3) 自己点検評価・外部評価を活かしたPDCAサイクルによる業務執行の機能性の確保	① 現規程の業務との整合性の検証と着実な改正・制定の実施 ② 決裁権限規程に基づく適正な決裁権限行使の遵守と徹底 ① 常勤理事会による意思決定の周知徹底と業務遂行の検証の継続 ② 事務部門会議による法人部門と各学校の役割分担の明確化と施策の実施状況の把握 ③ 各委員会の機能強化と年度実施計画の進捗管理 ① 自己点検評価、外部評価にて明らかとなった課題の業務への反映 ② 新評価システムに基づく認証評価への改善対策の検討
3. 広報戦略の強化 (1) 戦略的広報計画の立案と一元化の推進 (2) アカウンタビリティに基づく正確かつ適宜適切な情報開示及び機動性のある広報体制の構築 (3) 学園創立130周年に関する広報活動の取組	① 学園広報の年間スケジュール立案と管理 ② 新たな広報媒体や広報手段の調査・研究 ① 正確かつ適切な情報公開の実現 ② 情報公開規程等の制定と態勢整備 ① 創立130周年記念事業に伴う広報活動の展開

<p>4. 職場環境の改善</p> <p>(1) コンプライアンスに基づいた業務執行と人権・人格を尊重し、品位・品格のある職場風土の確立</p> <p>(2) 時間管理の徹底と余暇時間の創出による自己啓発の醸成</p>	<p>① 行動規範を理解・認識し実践・遵守の徹底</p> <p>② 懲戒規程等の制定と厳格な運用</p> <p>③ 様々なハラスメントへの理解・認識の向上</p> <p>④ 教職員によるあいさつ運動の継続</p> <p>① 時間管理の厳格な運用の徹底</p> <p>② 簡素化・効率化による業務内容の改善と自己啓発への支援体制の構築</p>
<p>5. 組織力の結集</p> <p>(1) 教職員の連携・協働による業務執行体制の確立</p> <p>(2) 同窓会・後援会・保護者会の組織力の増強と設置校・法人との連携強化</p>	<p>① 教職員の職務の相互理解の促進と、委員会運営・学校行事等への積極的共同参画</p> <p>① 学校・法人との連携強化によるイベント(創立130周年記念ホームカミングデー等)や学校支援への協力要請</p>

(2) 財政改革

重点施策	具体策
<p>1. 安定した財政基盤の確立</p> <p>(1) 中期財務計画に則った財務運営の実現</p> <p>(2) 着実な施設設備資金積立の実施</p>	<p>① 中期財務計画に基づく財務運営の検証</p> <p>① 予算管理の徹底と中期財務計画に則った施設整備資金積立の実現</p>
<p>2. 基本金組入前当年度収支差額の黒字化と収支バランスの確保</p> <p>(1) 学生生徒等納付金の着実な積上げによる収入源の確保</p> <p>(2) 国の施策や地域社会のニーズに適合した改革に取り組むことによる特別補助及び加算額の獲得</p> <p>(3) 収入の多様性を図るための外部資金や寄付金等の新たな財源の確保</p> <p>(4) 業務の合理化や取引先の多様化等による恒常的経費削減策の展開</p> <p>(5) 予算編成の精緻化と予算執行及び会計の適正化</p>	<p>① 各学校及び学部学科の学生納付金の値上げに向けた検討</p> <p>② 各学校及び学部学科の学生生徒募集状況の分析と施策の検証</p> <p>③ 他学・他校の分析結果に基づいた改組・改革の調査分析</p> <p>① 特別補助対象事業に関する情報収集と採択条件となる課題への積極的対応</p> <p>① 尚綱学園創立130周年記念募金第1期(30/4～33/3)募集の開始</p> <p>② 教職員の連携による科研費等外部資金獲得のための情報収集と積極的応募の奨励</p> <p>① 提案制度による効率化案の積極的採用と教職員の業務効率化意識の醸成</p> <p>② 既存取引先との取引条件見直しや新規取引先開拓による適切な相見積りの励行</p> <p>① 必要性・有効性・経済性の観点からの予算編成及び予算執行の調査</p> <p>② 合規性・適正性・効率性等の観点からの会計の適正化</p>

(3) 人事・人材改革

重点施策	具体策
<p>1. 人事計画・人事管理体制の確立</p> <p>(1) 人事採用計画に基づく適切な採用選考と適正人員の確保</p> <p>(2) 適材適所への配属と非常勤教員・非正規職員を含めた適正人員の確保</p> <p>(3) 公平性・公正性・納得性のある人事評価の確立と昇給・昇格への反映</p>	<p>① 自己申告書の活用による退職把握と採用計画への反映及び適材適所への人員配置</p> <p>② 適正な採用方法と採用基準を基にした有用な人材の確保</p> <p>① 業務量等に見合った適正人員の配置</p> <p>② 業務の互換性向上のための人事異動の実施</p> <p>① 考課者訓練の充実による評価の適正化及び適正な処遇の実施</p> <p>② 評価結果の確実なフィードバックによる能力開発や意欲の創出</p> <p>③ 適正評価のための制度改善への継続的取組</p>

<p>2. 教職員の資質・能力向上と職能開発の推進</p> <p>(1) 人材育成計画に基づく研修体制の確立と有効性のある運用</p> <p>(2) FD・SDの活用及び教職員の企画・提案力の育成</p>	<p>① 私大協、日短協、コンソーシアム等外部研修への計画的・積極的な参加</p> <p>② 事務職員の学内外研修の計画的な実施と管理</p> <p>③ 新規採用職員・中堅職員等段階的な資質能力の向上に繋がる研修の実施</p> <p>① 問題発見・解決能力・企画提案力等のFD・SDセミナー実施及び参加</p>
--	---

(4) 環境整備改革

重点施策	具体策
<p>1. 施設整備及び環境整備の推進</p> <p>(1) 既存施設設備の有効活用と障がい者対応を含めた整備の促進</p> <p>(2) 施設整備計画の実施</p> <p>(3) 快適なキャンパスライフの実現と学外利用の促進</p>	<p>① 施設整備計画に基づくバリアフリー化の促進</p> <p>② 既存施設の学外利用を含めた利活用の検討</p> <p>③ 図書館の市民開放結果の検証と活用方法の検討</p> <p>④ 学園施設の利用状況の分析と今後の利用促進策の策定</p> <p>① 施設整備計画に則った施設・設備の整備実施</p> <p>② 九品寺キャンパスの寮建設・購入の検討</p> <p>① 両キャンパスにコンビニ設置の検討</p> <p>② 武蔵ヶ丘キャンパス図書館にラーニングコモンズ設置の検討</p> <p>③ シャトルバス利用状況の検証</p>
<p>2. 危機管理態勢の強化</p> <p>(1) 諸リスクに対する態勢整備と機動的な運用</p> <p>(2) 防犯・防災計画に基づく態勢整備と備蓄等の実施</p>	<p>① 定期的な危機管理委員会の実施と周知</p> <p>② 事象発生時の機動的な態勢及び対処法の見直し</p> <p>① 熊本地震の総括を活かした対策の実施</p> <p>・ハード面(構造物・非構造物等)の調査・検証</p> <p>・ソフト面(連絡体制・避難体制等)の調査・検証</p> <p>・地域自治体等との連携</p> <p>② 防災訓練、避難訓練の計画的実施</p> <p>③ 防災のための施設点検とBCP態勢の調査・研究</p> <p>④ 備蓄用品の計画的購入と洗替え</p>
<p>3. IT環境の整備と構築</p> <p>(1) システム管理体制の確立と快適なシステム環境の実現</p> <p>(2) システム投資計画に基づく戦略的なIT環境の構築</p>	<p>① サーバー管理体制・学内ネットワーク体制の見直しと更改</p> <p>② 情報システム関連規程の制定による運用及び手順やガイドラインの作成</p> <p>③ 情報システムに関する年度講習計画の実施</p> <p>① IT環境の将来的なビジョンを明確にし、外部委託等も含めた再構築の検討</p> <p>② 校内LAN環境の整備</p>

(5) 創立130周年記念事業

重点施策	具体策
<p>1. 尚綱学園創立130周年記念事業の立案と実施</p> <p>(1) 文化事業等の実施</p> <p>(2) 記念刊行物の発行</p> <p>(3) 記念募金活動の実施</p> <p>(4) 記念活動等の実施</p>	<p>① 創立130周年記念シンポジウム・芸術鑑賞会の開催及び尚綱学園親子3代表彰・座談会の実施</p> <p>① 「礎」創立130周年記念特集号の発行</p> <p>① 創立130周年記念募金の実施</p> <p>① マスコットキャラクターの制定</p> <p>② 創立130周年記念ホームカミングデイの開催</p>

2. 尚綱大学・尚綱大学短期大学部

尚綱大学・尚綱大学短期大学部は、尚綱学園の「長期ビジョンと中長期行動計画」が今年度より後半期に入るため、前半期中長期行動計画に対する実施状況を踏まえ、後半期に向けた課題を抽出したうえで様々な具体策に取り組みます。

今回抽出した大学・短期大学部の課題は、第一に、一部の学部・学科において定員が未充足であることです。今年度、文化言語学部を改組転換し設置する現代文化学部については昨年以上に志願者増加・入学者確保のための活動を継続します。短期大学部については総合生活学科は志願者増加の兆しがありますが、食物栄養学科・幼児教育学科が低減傾向にあり積極的な広報活動とともに、入学者選抜の方法及び学生のニーズに適応した免許・資格等に関して調査と研究を行い、平成31年度入試に取り入れます。

第二に、高校生の四大志向に適応した体制を構築することです。幼児教育分野の四年制課程設置のための調査及び検討を加速させます。

第三に、本学が教育の質保証を確立し、特色ある大学として地域社会の認知を得ることによって、本学の評価を高めていくことです。教養教育のあり方を点検し、尚綱らしい、尚綱ならではの自校教育を行うための授業科目の開発などに取り組み、学生に学士あるいは短期大学士としての確かな知識と技能を身に付けて教育の質保証に応えます。

また、昨年度設置した学修支援センター、就職・進路支援センターの事業内容をさらに充実させ、学生に対する支援体制を強化します。

第四に、研究力の向上と外部資金の獲得を行うことです。研究倫理を定着させ、研究環境の整備を計画的に進め、外部資金等の獲得を支援し、教育と研究力の向上を図ります。

最後に、昨年度受審した認証評価機関からの指摘事項及び第3期評価システムへの対応です。今年度から認証評価が第3期に入るため、内部質保証を重視した第3期評価システムに基づく認証評価に備えます。その他にも、様々な課題がありますが、それらについては重点施策毎に具体策を講じてまいります。

(1) (教育)意欲的な学生の受け入れと質の高い教育の実施

重点施策	具体策
1. 意欲的な学生の確保	
(1) 高校生及び社会のニーズの調査と分析	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼児教育4年制課程の設置等に関するニーズ調査の集計及び分析 ② 企業アンケートの実施及び結果の活用 ③ 非入学者調査の実施及び結果の活用 ④ 定員未充足学部・学科を中心とした志願者・入学者のトレンド分析と対策 ⑤ 学生のニーズに適応した免許・資格等の調査、研究及び導入の検討
(2) 入試方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ① アドミッションポリシーに則した多様な入学者選抜方法の検討 ② 長期的、全学的観点からの入試戦略の策定と実施 ③ 大学入学希望者能力評価テスト(仮称)活用に向けた実施内容の研究 ④ 学力を構成する三つの要素を踏まえ多面的・総合的に評価する入学者選抜制度の検討 ⑤ AO入試・推薦入試等における多面的評価方法の導入検討 ⑥ 英語等の外国語における多面的評価方法の導入検討 ⑦ 社会人学生の積極的受入策の検討 ⑧ 入試広報・出願手段としての電子出願導入
(3) 広報活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ① オープンキャンパスの実施内容、方法の見直し ② ソーシャルメディアネットワーク利用の可能性追求 ③ 奨学金制度の拡充と周知による志願者増加策の実施 ④ 広域広報活動(AD利用方法等の再検討)と地方試験拡大の可能性検討
(4) 高大連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 高大連携・広報戦略としての学修支援(受験前教育支援)等による信頼関係の構築 ② 高校への出前授業、進学ガイダンスの実施 ③ 高校との連携事業の継続実施 ④ 在学生の出身高校との繋がりの強化
(5) 同窓会との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 同窓会との連携強化及び受験者情報の収集・提供等の拡大

<p>2. 質の高い教育の実施</p> <p>(1) 建学の精神、尚綱の教育理念に基づく自校教育の推進</p> <p>(2) 教育課程の点検と改革及び学部・学科の新設・改組の検討</p> <p>(3) 教育体制及び教育方法の点検と改善</p> <p>(4) FD及びSD活動の推進</p> <p>(5) 学修成果の計測と評価</p> <p>(6) 学修支援の強化及び学修成果の向上</p> <p>(7) 免許・資格取得のための教育課程・指導体制の整備</p>	<p>① 全学科における自校教育の実施(教養教育部会)</p> <p>① 教養教育科目の配置と実施方法の検討(教養教育部会)</p> <p>① 認証評価における第3期新評価システムへの対応</p> <p>① FD及びSD活動の年間計画の策定及びその確実な履行</p> <p>② 授業改善アンケートの継続実施</p> <p>③ オープンクラスウィークの継続実施</p> <p>④ 学内研修会等の定期開催</p> <p>⑤ 学外研修会等への積極的参加</p> <p>① 評価マトリックスの作成、配付(教務課)</p> <p>① 学修行動調査の実施(教務課)</p> <p>② 学修支援センターにおける基礎学力支援(教養教育部会)</p> <p>① 教職課程再課程認定対応(教職課程専門委員会)</p> <p>② 教員免許状更新講習の実施(教職課程専門委員会)</p>
---	---

(2) (学生支援)安全で快適な学修環境の整備と学生の就学・進路支援

重点施策	具体策
<p>1. 安全で快適な学修環境の整備</p> <p>(1) 教育施設のバリアフリー化を含む整備と安全管理</p> <p>(2) 防犯・防災のための危機管理体制の整備と強化</p> <p>(3) 図書館の整備と図書館活用の推進</p> <p>(4) 情報環境の整備</p> <p>(5) ハラスメントの防止</p> <p>(6) 学生の心身の健康維持・向上及び障がいを持つ学生への支援</p>	<p>① 障がい等特別支援を要する学生に対する環境整備</p> <p>② 調理実習室給湯設備の導入検討</p> <p>③ 空調機の更新</p> <p>④ 教室・事務室照明のLED化検討</p> <p>⑤ ラーニングcommons等施設の整備</p> <p>① 防災・防犯対策用品の整備</p> <p>② 学生及び教職員の防災意識の向上</p> <p>③ 教職員に対する防犯講習の実施</p> <p>① 図書館資料の充実、ラーニングcommons等図書館活用の実施</p> <p>② 図書館利用環境の改善</p> <p>③ 学生チューターの配置</p> <p>① 教務システム更改の取り組み</p> <p>① 学生生活実態調査の集約</p> <p>② 保健室、カウンセラーの学生相談状況の報告集約</p> <p>① 保健室・カウンセリング利用状況調査の活用</p> <p>② 疲労蓄積度調査の集約</p> <p>③ 疲労蓄積度調査の活用</p> <p>④ 学生生活実態調査の集約</p> <p>⑤ カウンセリング活用策の検討</p> <p>⑥ キャンパスソーシャルワーカー導入の検討</p> <p>⑦ 障がいを有する学生への支援(教養教育部会)</p> <p>⑧ カウンセリングの学生への周知</p>
<p>2. 学生生活に対する支援</p> <p>(1) 中途退学防止への取組</p>	<p>① 現状分析と中途退学者防止策の検討</p> <p>② 問題の早期発見に向けての観察の強化及び情報の共有</p> <p>③ 障がい等特別支援を要する学生への支援</p>

<p>(2) 学納金の免除・減額制度導入の検討</p> <p>(3) 奨学金・表彰制度の充実</p> <p>(4) 学生寮(如蘭学寮)の整備と管理</p>	<p>④ 授業料免除に関する現行制度の周知</p> <p>① 新制度に向けての検討</p> <p>① 奨学金制度の検討</p> <p>② 各種奨学金の周知、事務の充実</p> <p>① 現状分析及び改善事項の対応</p> <p>② 施設・設備の改修</p>
<p>3. 自治的活動の活性化に対する支援</p> <p>(1) サークル活動活性化の支援</p> <p>(2) ボランティア活動の支援</p> <p>(3) 尚綱祭の支援</p>	<p>① サークル活動費使用等に対する助言と支援</p> <p>② サークル活動の実態把握と活動に関するサポート</p> <p>③ クラブ・サークル広報の強化</p> <p>④ クラブ室の環境整備</p> <p>⑤ クラブ室等活動場所の環境整備</p> <p>① 積極的にボランティア活動に取り組めるような環境づくり</p> <p>② ボランティア保険加入の強化</p> <p>③ ボランティア登録の普及</p> <p>① 尚綱祭に対する助言と支援</p>
<p>4. キャリア形成・就職支援</p> <p>(1) キャリア形成・就職支援活動の充実</p>	<p>① 学科に応じた適正な「就職(進路)指導」計画の立案と運用</p> <p>② 「就職対策講座」の開講及びSPI勉強会の活性化等による筆記試験対策の強化</p> <p>③ 夏季及び春季のキャリアガイダンスの充実</p> <p>④ インターンシップ、合同会社説明会への参加の活性化</p> <p>⑤ 「就職懇談会」の充実と結果のフィードバック</p> <p>⑥ 資格取得・能力認定試験に関する支援体制の構築</p> <p>⑦ 個別面談等による就職未内定者に対する支援の強化</p> <p>⑧ 保護者向け情報発信の強化による保護者との連携構築</p> <p>⑨ 学生による就職支援の検討</p>

(3) (研究)教職員の研究倫理の遵守と研究力の向上及び外部資金の獲得

重点施策	具体策
<p>1. 研究倫理の遵守</p> <p>(1) 研究倫理の遵守のための諸活動の推進</p>	<p>① 研究倫理に関する諸規程の内容の確認及び教職員各自の役割の確認</p> <p>② 研究活動の不正行為防止計画及び競争的資金等の運営・管理に関する不正防止計画の策定</p> <p>③ 「競争的資金等使用ハンドブック2018」の作成と配布</p> <p>④ 研究活動の不正行為防止のための研究倫理教育の実施</p> <p>⑤ 競争的資金等の運営・管理等に関するコンプライアンス教育の実施</p> <p>① コンプライアンス研修会の開催</p> <p>② 研究倫理教育eラーニングの受講の実施</p>

<p>2. 研究力の向上と研究活動の活性化</p> <p>(1) 教員の研究力の向上と研究活動の活性化</p> <p>(2) 研究環境の整備</p> <p>(3) 尚綱子育て研究センターの研究力向上と活動の活性化</p> <p>(4) 尚綱食育研究センターの研究力の向上と活動の活性化</p>	<p>① 「教員の研究活動に関するアンケート」の結果を踏まえた施策の策定</p> <p>② 研究ブランディング事業に応募した「尚綱食育推進プロジェクト」の推進と支援</p> <p>③ 産学官の学外の機関との連携と共同研究の推進</p> <p>④ 外部資金等に関する研修会の実施</p> <p>⑤ 外部資金募集案内の周知</p> <p>① 「教員の研究活動に関するアンケート」の結果を踏まえた研究環境(ハード面及びソフト面)の整備計画の策定</p> <p>② 科研費申請書作成の支援のための講習会開催(学外の研究者に依頼)</p> <p>③ 教育研究機器整備計画の検討</p> <p>① 乳児保育研究会の定例開催及び保育現場における保育視察及び助言・指導</p> <p>② 保育の質向上及び保育者の早期離職防止のための条件整備に関する研究および研修の場の提供(COC+)</p> <p>③ 保護者支援、子育て支援に関する調査結果を踏まえた実践的研究および研修・交流の提供(COC+)</p> <p>④ 『児やらい』第15巻の発行</p> <p>⑤ 研究ブランディング「尚綱食育推進プロジェクト」への協力・連携</p> <p>⑥ 尚綱こども園の保育・教育実践における専門知識の提供および研究体制の充実</p> <p>⑦ 学園ウェブページによる情報発信</p> <p>① 郷土料理教室の実施</p> <p>② 学食レシビコンテスト開催</p> <p>③ 学生の食生活状況の改善に向けた具体策の検討</p>
<p>3. 研究費の効果的配分と外部資金の獲得</p> <p>(1) 研究経費の効果的配分</p> <p>(2) 外部資金獲得の支援</p>	<p>① 科研費の申請状況に基づく特別研究費傾斜配分の実施</p> <p>② 研究ブランディング事業に応募した「尚綱食育推進プロジェクト」への特別研究費の配分</p> <p>① 外部資金に関する公募情報の提供</p> <p>② 科研費申請に関する講習会の実施(学外の研究者に依頼)</p> <p>③ 外部資金に関する情報提供と申請に関するサポート</p>

(4) (地域連携・社会貢献)地域連携の推進と社会貢献の拡充

重点施策	具体策
<p>1. 産学官民との連携</p> <p>(1) 尚綱子育て研究センターの地域連携と地域貢献</p> <p>(2) 尚綱食育研究センターの地域連携と地域貢献</p> <p>(3) 尚綱ボランティア支援センターの地域連携と地域貢献</p>	<p>① 尚綱こども園子育て支援室における地域の就園前乳幼児の発達支援、保護者支援への協力(専門知識の提供、企画・運営についての協力・連携)</p> <p>② 第17回公開シンポジウムの開催</p> <p>③ 熊本県地域型保育連絡協議会との協力・連携(定例会議の開催、現任者研修の開催協力)</p> <p>④ シンママ熊本応援団(ひとり親家庭の支援)との協力・連携(定例会議の開催、研修会・交流会の開催、相談支援及び専門知識の提供)</p> <p>⑤ 第5回保育実践講演会の開催</p> <p>① 自治体等が開催する各種イベントへの参加協力</p> <p>② 産学連携推進部会六次産業化育成連絡会への参加</p> <p>① 周知活動の強化</p> <p>② 積極的なボランティア活動参加で地域貢献の推進</p> <p>③ ボランティア依頼情報の広報強化</p>

(4) 尚綱地域連携推進センターによる地域連携の推進	① 政府が地方私大に求める産学連携を念頭に企業等との協定を推進 ② 包括協定先との定期的な情報交換、共同事業の実施 ③ 武蔵ヶ丘近隣6校区長との定例会議の開催 ④ 連携を研究、教育に幅広く活かすため、全学科、3センターとの情報共有 ⑤ アクティブラーニングによる地域課題解決に向けた授業への支援 ⑥ 現代文化学部、生活科学部教務委員会と連携しCOC+教育の実践 ⑦ 他大学等との連携事業の検討と実現
2. 本学が有する資源の地域社会への還元 (1) 公開講座の開催 (2) 高大連携の推進 (3) リカレント教育の推進 (4) 学校施設等の開放 (5) 社会人学生の受け入れ	① 尚綱公開講座、サマーセミナー、現代文化学部公開講座等の開催 ① 受験前教育支援の継続実施(高校との信頼関係の確立) ① 各学科のリカレント教育の実施状況を把握 ① 近隣住民、公開講座受講者、卒業生、こども園保護者等の図書館利用の活性化促進 ② 利用希望者への体育館、教室当施設の開放促進 ① 利用希望者への体育館や教室等施設の開放 ① 長期履修制度の活用促進
3. 同窓会との連携 (1) 同窓会との連携によるホームカミングデイの実施と改善	① 来場者の増加のための検討 ② 各学科における事業内容の検討
4. 本学の活動に対する学外者の意見の聴取 (1) 外部有識者会議等の設置の検討	① 適切且つ必要な委員会、プロジェクト等について学外委員の配置を検討

(5) (国際交流)国際交流の推進

重点施策	具体策
1. 海外の教育研究機関との連携 (1) 国際交流に関するビジョンの策定と基盤整備 (2) 既存の提携教育研究機関とのさらなる連携の強化 (3) 新たな教育研究機関との交流協定締結の検討	① 大学・短期大学部の国際化ビジョンの策定 ② 国際交流室(仮称)の設置と活用 ③ 大学ホームページの外国語(英語)化の実施 ④ 交換留学生の学生チューターの配置 ⑤ 交換留学生の年末年始宿泊方法の検討と実施 ⑥ 国際交流に関する危機管理体制の検討と整備 ⑦ 国際交流担当事務職員のSD活動の検討と実施 ⑧ 外国人留学生・教員と地域との交流 ① 教員の交換と授業や共同研究の検討 ② 研修旅行、短期語学留学、交換留学の実施 ③ 海外インターンシップ、ダブルディグリー等新たな連携の検討 ① 英語圏の大学(マレーシア南方大学学院等)との交流と協定締結 ② 中国(上海杉達学院等)との交流と協定締結 ③ 台湾(高雄大学等)との交流と協定締結 ④ 韓国(済州大学等)との交流と協定締結
2. 留学生の派遣と受け入れ (4) 派遣と受入人員枠拡大の検討と実施	① 仁徳大学の派遣・受入枠の拡大

(6) (IRと自己点検・評価)IR機能の強化と恒常的な自己点検・評価システムの構築及び認証評価への適切な対応

重点施策	具体策
1. IR機能の強化 (1) 大学企画室機能の充実と強化	① IRの年間計画の策定及びその確実な履行 ② 学外研修会等への積極的参加

2. 恒常的な自己点検・評価システムの構築と実施 (1) 自己点検・評価の定期的実施 (2) 認証評価への適切な対応	① 自己点検・評価規程に基づいた自己点検・評価の実施 ① 第3期評価システムに向けた内部質保証に関する研修会の開催
3. PDCAサイクルの確立 (1) PDCAサイクルの確立と徹底	① 内部質保証システムの構築

3. 尚綱中学・高等学校

平成30年度は中長期行動計画の中間地点であり、これまでの5年間を総括し、さらなる事業内容の充実と新しい事業の取り組みを以下のように策定しました。

- (1) 教育内容の充実と尚綱らしさの追求については、「建学の精神」「教育理念」を基に、人間教育の充実に努めると共に、入試改革に備え学力向上及び授業改革に取り組みます。新教育改革における教職員の更なる指導力強化を目指し、新しい教育スキルを磨くための研究に取り組みます。また、国際交流の推進においては、平成28年8月に韓国蔚山市立鶴城女子中学との姉妹校を締結したのを機に、同校との交流を推進すると共に、英語圏での姉妹校提携に向けての取り組みを行います。
- (2) 生徒支援の充実については、これまでの事業に継続して取り組むと共に、スクールバスの円滑な運行やドリー入所生徒への支援に努め、新入生及び在校生の福利厚生に努めます。
- (3) 学習意欲あふれる生徒の確保については、広報部を中心とした全職員による広報活動を継続して推進すると共に、学習塾との連携を一層深めます。また、昨年度から実施している人吉・阿蘇地区での出張入試に力を入れ受験者の掘り起こしに努めます。
- (4) 指導力の向上につきましては、大学入試改革に伴った指導力を身に付けるため更なるスキルアップを目指し、ICTを活用した授業の研修に取り組み、指導力の向上に努めます。
- (5) 地域貢献の推進では、本校主催の各種大会や部活動の合同練習会等に従来通りに取り組む一方、生徒募集を兼ねた取り組みとして中学校や塾への施設貸出にも積極的に取り組みます。

(1) 教育内容の充実と尚綱らしさの追及

重点施策	具体策
1. 人間教育プログラムの充実 (1) 諸活動の総合的・計画的な年間計画の策定と実施の推進 (2) 外部組織や外部人材の積極的な活用 (3) 尚綱塾・礼法教育の推進 (4) 各種講演会の開催 (5) 図書館教育の推進	① 多岐にわたる諸活動を年間計画に則り実施 ① 講演会、学年別講話、各種研修会等に公的機関の人材をはじめ随時活用 ① 幅広い知識や体験のためのプログラムの検討、計画及び実施 ② 礼法教育の推進のために全生徒マナー検定上級資格の取得継続 ① 生徒が受け入れやすい講演を念頭に全校及び学年別の開催を計画実施 ① 朝の10分間読書実施要項に基づき継続実施 ② 図書委員会を中心に更なる充実を図るための計画及び実施
2. 基礎学力の確立 (1) 魅力ある授業の推進 (2) 課外授業の推進 (3) 尚綱ゼミの推進 (4) 小論文指導の強化 (5) 自学・自習の習慣化	① 大学入試改革を踏まえた授業研究会の実施 ② 教科の枠を超えた授業観察及び研究会の実施 ③ 外部講師による教科独自の勉強会の実施 ④ ICT教育導入についての検討 ① 希望制課外(総合・一貫コース)と全員課外(特進コース)の実施と内容の充実 ① 部活動や諸活動の参加ができるように放課後の自学・特別講義の取り組みについて検討 ① 総合的な学習の時間を使っての小論文指導、小論文課外、受験に向けての個別指導の実施 ② 生徒向けの小論文講話、職員向けの研修の実施 ① 家庭学習の記録帳「志」を活用して生徒の学習時間や内容の確認と指導

<p>3. 各コースの特色づくり</p> <p>(1) カリキュラムの検討</p> <p>(2) クラス編成の検討</p> <p>(3) 進路実績の向上</p>	<p>① 高大接続テスト、新大学入試に対応した教育課程の研究</p> <p>① 総合コース文・理系クラスを生徒の進路希望に沿って内容検討</p> <p>① 模擬試験の実施と結果分析</p> <p>② Fine-System(Benesse), Kei-Nave(河合塾)の活用</p> <p>③ コース毎の指導者による模試検討会の開催</p>
<p>4. 国際交流の推進</p> <p>(1) 海外修学旅行の実施</p> <p>(2) 姉妹校提携の推進</p> <p>(3) 短期・長期留学の推進</p> <p>(4) 留学生受入の推進</p> <p>(5) ICC利活用の推進</p>	<p>① 過去5年間の修学旅行について内容の検証と行先の再考</p> <p>① 韓国姉妹校との交流を継続、高校の姉妹校について検討</p> <p>① 幅広い留学情報の提供及び希望者へ専門的アドバイスを実施</p> <p>① 外部団体との連携による留学生の受け入れを継続</p> <p>② ホストファミリーの開拓を継続</p> <p>① 検定用問題集や洋書、英字新聞を活用した英語学習の推進</p> <p>② 外国人講師による発音指導・スピーキング力向上のための個別指導の徹底</p> <p>③ 留学相談の実施</p>
<p>5. 中高大連携の推進</p> <p>(1) 中高大連携事業の推進による、特色化・差別化の確立</p> <p>(2) 学園内進学における入試制度の改革</p> <p>(3) 中高大職員の交流と情報交換の推進</p>	<p>① 魅力ある学部学科説明会の開催及び出前講義の充実</p> <p>② 中国語・韓国語講座を継続及び推進</p> <p>① 入試連絡会等による相互の情報交換の推進</p> <p>① 入試連絡会等による相互の情報交換の緊密化</p>

(2) 生徒支援の充実

重点施策	具体策
<p>1. 進路指導の充実</p> <p>(1) 進路相談の充実</p> <p>(2) 進路情報の収集と生徒・保護者への情報提供の徹底</p> <p>(3) 高大接続テスト(仮称)の研究及び対策の検討</p>	<p>① 進路指導部から各学年、各担任への進路情報提供を徹底し相互の連携を強化</p> <p>② 二者面談、三者面談の実施</p> <p>① 外部研修会、説明会等への積極的参加による情報収集</p> <p>② 進路情報誌「春に向かって」の毎月配布による生徒や保護者への情報発信</p> <p>③ 「尚綱通信」の発行</p> <p>④ 二学期保護者会での進路講話実施による保護者や生徒への進路情報提供</p> <p>① プレテストに積極的に参加し教科ごとに研究、対策及び実施計画の策定</p> <p>② 外部研修会に積極的に参加</p>
<p>2. 教育相談の充実</p> <p>(1) 生徒支援体制の確立</p> <p>(2) 個人面談及びカウンセリングの充実</p> <p>(3) 保護者対象の教育座談会の実施</p> <p>(4) 外部組織・人的支援の活用</p>	<p>① 生徒情報共有化のための職員研修の実施</p> <p>② スクールバス運行担当者の配置</p> <p>③ ドーミー入所生徒の支援の充実</p> <p>① 4月～5月に全校で個人面談を実施</p> <p>② 専任のカウンセラーを配置</p> <p>① 保護者の希望によるスクールカウンセラーを囲む座談会を実施</p> <p>① 熊本県の派遣事業を利用したSSW、発達障害者対策センター相談員との連携</p>
<p>3. 課外活動の推進</p> <p>(1) 生徒会活動の推進</p> <p>(2) 部活動の推進</p> <p>(3) 課外活動(生徒会活動・部活動など)の実績を活かした推薦入試・AO入試活用による進学情報の推進</p>	<p>① 全生徒が参加する文化祭、体育祭、クラスマッチ等の内容の充実</p> <p>② 常任委員会活動の活性化</p> <p>① オリエンテーションでのクラブ紹介と1年生全員参加の体験入部期間の設定</p> <p>② 全国大会入賞者の祝勝会開催</p> <p>① 部活動生徒及び部活動顧問への推薦・AO入試に関する情報提供及び指導の推進</p>

4. 奨学生制度・表彰制度等の活用 (1) 奨学生制度・表彰制度等の活用による学力・特技に優れた生徒への支援 (2) 奨学生制度・表彰制度等の再検討	① 育英褒章、花桜会奨学生の選考 ② 公的制度の生徒・保護者への周知徹底 ③ 奨学生の採用及び特待生・奨学生の審査と指導の実施 ① 総務部と教務部合同で検討
5. 各種検定試験受験の推進 (1) 英語検定、マナー検定等への取り組みの継続 (2) 級別指導の徹底による成果の向上	① 各種検定試験の推進(中学生は英語検定試験を毎年1回全員受験、高校生は大学入試改革の動きを見ながら検討) ① 各種検定合格のための計画的な指導計画作成と実施
6. 校舎内外の環境美化推進 (1) 校内清掃の徹底 (2) 環境整備のための植物栽培	① 美化委員会の活性化と監督の指導徹底 ① エコ委員会、ボランティア委員会、美化委員会の連携による校内花壇の花の植栽と手入れ
7. 育友会・後援会・同窓会との連携の推進 (1) 保護者会の充実 (2) 総会・定例委員会活動への協力推進 (3) 地区会の推進と内容の充実 (4) 学校行事での連携推進 (5) 同窓会・後援会総会等への出席の推進 (6) 卒業生名簿の作成	① 各学期に1回保護者会を実施(1, 3学期の授業参観を含む) ① 育友会役員、職員協働による総会、委員会の実施 ① 育友会役員、花桜会との協働による地区会の検討及び実施 ① 文化祭、ホームカミングデイ、体育祭、尚絅コンサート、金峰山登山等各行事の開催をホームページ等で周知し、育友会の協力を得ながら実施 ① 同窓会、後援会の行事に積極的に協力参加 ① 同窓会事務局と協力して作成

(3) 学習意欲あふれる生徒の確保

重点施策	具体策
1. 広報活動の推進 (1) 広報活動の再構築 (2) 恒常的な小学校・中学校・学習塾・個別訪問活動の推進 (3) 女子教育の強みを活かした広報活動の推進 (4) 育友会・同窓会・後援会との連携	① 平成29年度の全広報活動の検証を行い平成30年度の広報戦略を策定 ① 全職員による戸別訪問活動と並行し、学習塾対策を強化 ① 他県の女子校の取り組みを参考に本校独自の広報活動を検討 ① 育友会、同窓会、後援会への学校の諸活動及び行事の告知と広報活動の連携推進
2. 特待生制度の活用 (1) 特待生制度の活用による学力・特技に優れた生徒獲得の推進 (2) 特待生制度の再検討	① 小学校、中学校、学習塾、クラブチーム等への訪問・勧誘活動の強化と早期着手 ① 生徒・保護者から見た魅力ある制度の検討

(4) 指導力の向上

重点施策	具体策
1. 職員研修の推進 (1) 校内研修の充実 (2) 外部研修の推進 (3) 研修内容の共有化と実践の督励	① 教科主任会、中堅・若手教員育成研修会の実施 ② 大学入試改革に即応した授業研究会の実施 ③ ICTを活用した授業研修会の実施 ① 県教育研修センター、外部の各種研修会、私学研修会への職員派遣 ② 他校視察研修の実施 ③ 姉妹校を視野に入れた海外語学スクール等の視察 ① 研修報告、研修内容の復講及び研修資料配布の徹底
2. 授業力の向上 (1) 授業力の向上	① 外部講師招聘による全教職員参加の研究授業及び合評会の実施 ② 教科の枠を超えた授業公開及び自己研修の実施

(5) 地域貢献の推進

重点施策	具体策
1. 地域活動の支援 (1) 合同練習会開催の推進 (2) 外部への生徒・指導者の派遣推進 (3) 尚綱塾シニア講座の充実	① 中高体育系部活動において、外部の小・中・高校生との合同練習会の開催 ② 小・中・高各種大会の誘致 ① 各種大会主催者からの要請に応じて派遣 ① 同窓会、育友会、後援会の各会員及び保護者、現職員への呼びかけによる参加者拡大
2. ボランティア活動の推進 (1) ボランティア活動の推進	① 各種ボランティア活動への派遣推進 ② 学校周辺の地域貢献のための清掃活動
3. 学校主催事業の推進 (1) 本校主催の各種大会の開催	① 尚綱コンサート、小学生英語暗唱大会、第1回みなみ阿蘇野の花コンサート、尚綱杯ソフトテニス大会の開催

(6) 学校評価

重点施策	具体策
1. 内部評価委員による学校評価の実施 (1) 生徒・保護者による学校評価アンケートの実施 (2) 内部評価委員による自己評価の実施	① 生徒、保護者対象のアンケート調査の実施 ① 自己評価委員、全職員による評価の実施
2. 学校評価委員による学校評価の実施 (3) 学校評価委員による学校評価の実施	① 学校評価委員による評価の実施

4. 尚綱大学短期大学部附属こども園

こども園として2年が経過し、周辺地域にも認定こども園に移行していることが周知されるようになり、2・3号認定希望者の見学や問い合わせも増えてきました。

こども園の日課もようやく軌道に乗り始めており、これからも、こども園の理念に基づき、教育保育の充実を図りながら、特色ある園作りに取り組んで参ります。

平成29年の告示により、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂されました(幼稚園教育要領・保育所保育指針、共に同時改訂)。

これにより、幼児教育・保育のあり方としては、「環境を通じた教育」「乳幼児期からの発達と学びの連続性」「小学校教育との接続のあり方」などが明確になりました。具体的には、環境を通しておこなう教育の「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識して計画・評価すること、0歳から就学前までの一貫した教育及び保育を園児の発達や学びの連続性を考慮し展開することなどが挙げられます。

今後、改訂された教育保育要領を確認しながら、まず第一に、園の教育・保育のあり方について職員間で考えながら丁寧な保育を目指していきます。

第二に、附属のこども園として短期大学部教員、各分野の専門家等と連携をしながら、実習や園内の研修会、豊かな環境作り、特別支援教育など指導力向上のために、注力して参ります。

第三に、こども園における在園児保護者支援では、多様な保育時間の利用、預かり保育、延長保育、充実した給食提供、スクールバス検討、特別支援等と保護者に寄り添った子育て支援、保護者支援に努めます。

そして第四に、本園への入園希望者を確保するために説明会・見学会の開催、子育て支援室利用保護者への対応、WEBページの充実等に努め、本園の教育及び保育の内容に、理解をいただき、信頼を受け、就園につながるよう努めて参ります。

(1) 教育・保育内容の改革と尚綱らしさの追求

重点施策	具体策
1. 豊かな自然環境を生かした特色ある園づくり (1) 自然環境の整備 (2) 特別支援を要する園児への配慮を含めた施設設備の充実	① こども園周辺の森をあそびの森にするための自主勉強会の実施 ② 園庭及び保育棟南側高台の環境整備 ① 自然環境と調和した遊具の配置 ② 支援の必要な園児への配慮等、教育・保育充実のための施設整備と維持管理

<p>2. 教育・保育内容の充実</p> <p>(1) 教育・保育内容の改善</p> <p>(2) 自然を体験する学びの推進</p>	<p>① 教育・保育要領に基づいた年間行事の見直しと保育プランの見直し</p> <p>② 家庭的な雰囲気の中で過ごせる乳児保育の環境づくり</p> <p>③ 絵本や物語に親しむ環境づくり</p> <p>① 親子の豊かな自然体験の推進</p> <p>② 落ち葉を利用した腐葉土づくり</p>
<p>3. 魅力ある食育活動の推進</p> <p>(1) 畑を活用した栽培と収穫</p> <p>(2) 調理体験の実施</p> <p>(3) 食育計画の立案と実施</p>	<p>① 季節に応じて種まき、苗植えから始める栽培、収穫の体験</p> <p>① 栽培物での調理体験と親子での調理体験の実施</p> <p>① 「食を営む力」を培うための食育の年間計画に基づく実施</p> <p>② 食べることの喜びや楽しさを実感する体験の充実</p> <p>③ 食を通して食事マナーや文化を伝える教育の実施</p> <p>④ 子育て研究センター、食育研究センターとの連携</p>

(2) 園児の確保

重点施策	具体策
<p>1. 広報活動の推進</p> <p>(1) 入園パンフレット・ポスター及びWEBページの充実</p> <p>(2) 保護者への説明会・見学会の開催</p>	<p>① 入園パンフレットの内容とポスター掲示場所の検討</p> <p>② WEBページの内容充実と「お知らせ」欄の定期的な更新</p> <p>① 入園希望者への説明会実施</p> <p>② 見学希望者への見学会を定期的に行う</p>
<p>2. 子育て支援室の利活用</p> <p>(1) 積極的案内と利活用の促進</p> <p>(2) 短期大学部教員との連携強化</p>	<p>① 子育て支援室参加保護者へのこども園教育・保育の紹介及び園見学の実施</p> <p>② 利用者の満足度を高めるための、支援室活動内容の見直しと実施</p> <p>① 就園を前にした保護者への講演等子育て研究センター等との連携</p>
<p>3. スクールバス運行の工夫</p> <p>(1) スクールバス運行とバスコース・バス停の検討</p>	<p>① 年度ごとのバス利用者を考慮したバスコース、停留所の見直し検討</p> <p>② 各停留所等地域への協力依頼</p> <p>③ バスの安全運行のための車検、点検等及び安全運転管理者等講習会への参加</p>

(3) 保護者支援改革

重点施策	具体策
<p>1. 在園児保護者への子育て支援</p> <p>(1) 講演会・子育て相談・援助の実施</p> <p>(2) 延長保育・預かり保育の充実</p> <p>(3) 特別支援教育の充実</p> <p>(4) 健康管理の実施</p>	<p>① 1学期と3学期の保育参観後の保護者講演会の実施</p> <p>② 誕生会、おしゃべり広場の充実と個人面談の実施</p> <p>③ スクールカウンセラーの設置と周知</p> <p>① 延長保育の内容充実と利用保護者への連絡体制の強化</p> <p>② 預かり保育と延長保育担当職員の連携協力</p> <p>① 発達相談会の実施</p> <p>② 市、町等特別支援連絡会や研修参加</p> <p>③ 個別指導計画の作成と特別支援教育に必要な教材研究</p> <p>① 内科、歯科検診と尿検査の実施</p> <p>② 園内の衛生検査や衛生管理及び健康管理の徹底</p>

2. 地域保護者への子育て支援 (1) 講演会・講習会の開催 (2) 保育体験の実施 (3) 子育て相談、援助の実施	① 短期大学部教員及び子育て研究センター、食育研究センター等教員による講演会等の実施 ② 地域ボランティア等外部講師による講演会、講座等の実施 ① 園庭や支援室での親子遊びの体験 ② 2歳クラス、満3歳児クラスでの保育参加体験 ③ 園行事の見学及び参加 ① 子育て支援室担当職員及びこども園職員による子育て相談や情報提供 ② 短期大学部教員による子育て相談会の実施
---	--

(4) 教育・保育の指導力向上

重点施策	具体策
1. 園内研修の充実 (1) 教育・保育課程テーマ研修の開催 (2) 乳児保育研修の開催 (3) 環境会議の開催	① 教育課程の研修テーマに沿った園内研修の実施 ② こども園教育保育要領改訂に伴う勉強会の実施 ③ 事例研修会、園内公開保育等園内研修の充実 ① 乳児保育について年齢別、テーマ別の研修を実施 ② 子育て研究センター主催の乳児保育研修会に参加、事例発表 ① 2週間に一度の保育環境会議の開催
2. 研修会・研究会等の積極的参加 (1) 全幼研・連合会主催の研修会等への参加 (2) 日保協研修会への参加 (3) 実技研修会・その他の研修会等への参加	① 全幼研・連合会等主催の研修会参加やキャリアアップ研修会の参加と報告会の開催 ① 日保協会主催の乳児保育及び障害児保育研修会参加と報告会の開催 ① 実技、実践研修会及び人権研修会等への参加と報告会の開催
3. 短期大学部との合同研修及び研究会の開催 (1) 短期大学部との連携 (2) 実習生指導計画案の内容検討	① 園内研修会参加の呼びかけ ② 運動能力測定の実施 ③ 日常的な保育や保護者対応等の相談 ④ 子育て研究センター、食育研究センターとの協力及び連携 ① 幼児教育学科学生による実習の指導内容の確認と研究保育に向けた課題の設定 ② 幼児教育学科実習担当教員との指導内容、課題等の連絡会実施

(5) 地域連携の推進

重点施策	具体策
1. 地域交流の充実 (1) 行事の参加 (2) 世代間交流の推進	① 地域の方と園児とのふれあいと交流を目的とした園行事の実施 ① 地域老人会等、子育ての知識、技術、遊びの伝承を目的とした世代間交流の実施 ② 中学校、高校等職場体験の受け入れ
2. 幼小連携の推進 (1) 職員による学校訪問 (2) 連絡会の実施	① 授業参観、幼小連携会議、運動会、入学式、卒業式等への参加 ① 就学先の小学校との連携や交流を図る連絡会の開催 ② 武蔵ヶ丘中学校校区連携推進協議会への参加

(6) 学校評価

重点施策	具体策
1. 学校評価の実施 (1) 職員の自己評価の取組 (2) 保護者アンケートの実施 (3) 学校評価委員会の開催と公開のあり方の検討	① 保育教諭等職員による自己評価の実施 ① 在園児保護者と子育て支援室利用保護者へのアンケート実施 ① 委員による評価の実施と学校評価委員会の開催 ② 保護者会や園だより、WEBページ等、結果公表のあり方検討